

江古田小校長室便り 「温故創新」

H29（2017）・0612 NO11

校長 伊波喜一

励ましの 言葉一つに 雀躍と ヒトの歴史は 癒しとともに

シンギュラリティという言葉があります。「予測不可能」という意味で使われていますが、元々は物理学の言葉で「ブラックホール」のことです。ある境界線を越えると全てが劇的に変化してしまい、その先に何があるのか予測できないことを指します。今、目覚ましい勢いで人工知能のシンギュラリティが見られます。それは囲碁やチェスなどのように、情報を集め・活用する能力だけに限りません。相手の感情に寄り添い（共感）、読み解き（理解）、背中を後押し（応援）していく能力も、格段に進化しています。約200万年前に類人猿から人類に進化する段階で、人類は新皮質が拡張し前頭葉が大きくなり、言語が誕生しました。アートや音楽がそれに続きました。人はアートや音楽にふれることで癒されてきたのです。

人の心ほど不可解で不思議なものはありません。癒しという高度な能力は、人を特徴づける特質です。どれだけシンギュラリティが進んでも、人の遺伝子に残っているこの**利他**の精神は色褪せるものではありません。癒し癒されて、人類は生き延びてきたのですから。